

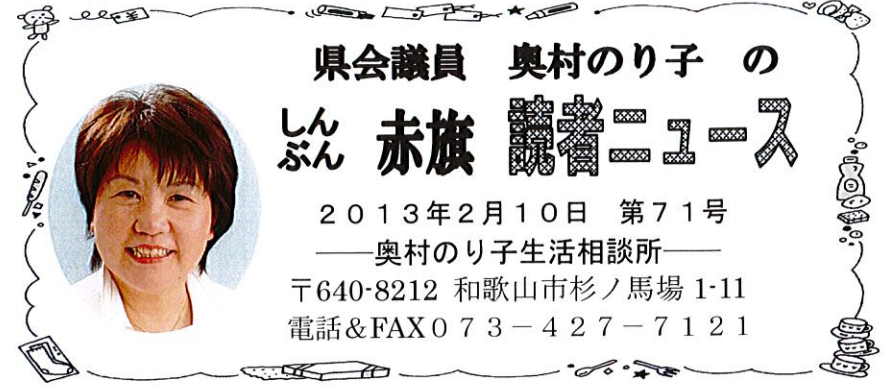
県会議員 奥村のり子の
しん 赤旗 読者ニュース

2013年2月10日 第71号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

電話&FAX 073-427-7121



新年度県予算案

各部署の説明受け
意見交換しました

切実な願いに
粘り強い運動が必要

2月20日から来年度の予算を決める議会が始まります。

日本共産党県議団は200項目以上のくらしの願いをまとめ事前に提出し知事とも懇談をして参りました。2月1日には終

日、各部署から予算案について説明を受け意見を述べました。国保料や介護保険料の負担の軽減や、子どもの医療費助成制度の拡充、リフォーム助成制度の創設など切実な県民の願いには背を向けたままです。粘り強い運動と議会への働きかけがますます必要であることを痛感しています。

そして、この夏には国政を変えるチャンスがまたやってきま

す。地方政治と共に私たちの暮らしをよくするためには日本共産党を大きくして行くことがとても大事であると自負しています。

国会が開かれ、各党の代表質問で政治姿勢が明らかになっています。公明・民主・維新・みんなの党は「経済の再生」を「最大かつ喫緊の課題」と位置づけている安倍政権を応援する立場です。

この10年間で雇用者所得は22兆円も減っているという事です。私たち庶民のくらしがよくならなければ経済はよくなりません。消費税増税を中止させ、国民の所得を奪うあらゆる政策を取りやめさせることです。雇用破壊につながる財界・大企業の身勝手なリストラや賃下げを許さない政治を実現することだと思います。

参議院選挙勝利に向けて

政権交代しても弱者に無慈悲な政治が...

低年金生活者の筆者。家では給湯器の灯油の補給係。そのタンクは70ℓ以上入るから以前は給油車で配達だったが、18ℓ当たり200円位高い。満タンで800円が配達料。その後ポリタンク持参で購入し手動ポンプでシユポシユポと給湯器へ移動。寒い冬は台所、風呂等で18ℓでは1週間持たず。その灯油がアベノミクスとか騒がれ始めた頃から毎週のように値上げの連続。昨年10月と比べ18ℓで1800円、11%も上がった。ガソリンも値上げが続く。安倍首相の言う経済再生のため無制限の金融緩和に「期待」したのか、円安ドル高で輸入原油の上昇が大きな要因。原油や輸入穀物は上がるし関西電力も値上げの催促だ。円安は電機や自動車など輸出大企業にはホクホクだが経団連は今春闘に際し早くも賃上げを拒否。大企業が栄えても働く人におこぼれもなし。年金は今秋から三年間で2・5%削減が総選挙のドサクサに決められ、新年度の巨大予算案で不要不急な大型公共事業や軍事費は増えても生活保護費は受給世帯の9割で減額案も...。政権交代しても弱者に無慈悲な政治

リレートーク Relay talk

説明を受ける県議団(右)
4人目がのり子です

リレートーク

紀伊半島の小動物

「キツネやウサギ、イタチやテンなど小動物をかつてのように見かけなくなった」とブログに書いたら、「イタチはたまに見る」と早速ある方がメールをくれた。うん、それはそうなんだが、減っているのは間違いなこと。林業の衰退で山が荒れ、林のなかで下草、つまり草むらがなくなってしまったから、ではないかと考える。

草むらが必要な生きものたちには生存できないような環境になっている。ひと昔まえ、野ウサギや野ネズミはそこいらにたくさんいた。イタチや

林業の衰退で動物たちに異変



テンもかなり減ってきた。文字通り「私たちの道きり」が現実のものになっている。自然にそうなったわけではけっしてない。

ここ数年で、山でキツネを見た人はいますか? ていうか、普通の人はもう山には入らないだろう。キツネはウサギやネズミを食べるが、もう見かけなくなった。林業の衰退は、そこで生きる動物たちの生存を奪ってしまった、のだ。

逆に、紀伊半島にふえた動物がある。イノシシ、シカ、サル、日本カモシカ、それにアライグマだ。日本カモシカは特別天然記念物で、過保護が原因なのか、いやはや。

(写真は道ばたでひょっこり

2月の行事

(主なもの)

- 2月 8日 市駅前早朝宣伝、原参院候補と挨拶回り
- 9日 産廃学習会
- 10日 議会準備
- 11日 産廃調査
- 12日 党県・社会保障部会
- 13日 議場見学会、生活保護制度学習会
- 14日 無料生活相談日

党県・副委員長

原やすひさ

